男爵記念館農機類標本台帳

一般名称: 果樹園用デスクハロー	現地の通称:

資料種別: ◉ 製品-実物 ○ 製品-レプリカ ○ 製品-模型 ○ 製品図面 ○ 写真等 ○ 図書掲載 ○ その他

資料種類:
- ☐ 人力用具 ☐ 手押式 ☐ 耕耘用 ☐ 調製用
- ☒ 畜力用具 ☐ 乗用式 ☐ 施肥播種 ☐ 施設類
- ☐ 原動機具 ☒ 牽引式 ☒ 管理用 ☐ 機素
- ☐ トラクタ具 ☐ 定置式 ☐ 収穫用 ☐ その他

管理プレートNo.

台帳No. D031

相手先番号等

統一分類記号

製作者・会社: 不明、原型は例えばJD社R型果樹園用と判定

製造市・国名

製造年_購入年,標本収集年

使用目的・使用方法等

デスクハローは、円盤による切断とギャンク角による押しつぶしなどで土塊を砕土し、整地する作業機であるが、本機は、通常の機種と異なってギャングを着脱型とし、ギャング位置(ギャング間を空ける場合も含めて作業幅可変)、円板の向き(土の寄る方向可変)、見本となったジョンデーア社R型果樹園ハローではフレームの幅も変えられ、果樹園で馬やトラクタが通れない樹木の下にギャングを潜り込ませて作業ができるため、通常機種による耕起後の砕土でなく、本機は果樹園の表層破砕・攪拌・除草などに使う機種と考える。

利用経過収集記録意義等

製造会社は輸入・国産含めて不明、原型は例えばＪＤ社Ｒ型果樹園用と判定。ギャングとデスクは、出来栄えから輸入品と見られるが、フレームは国産であろう。なお、国産デスクハローは、1960年ごろまで耐久性が強いとしてデスクを部品輸入した会社が少なくなかったが、本機購入の大正期にあったかどうかは分からない。

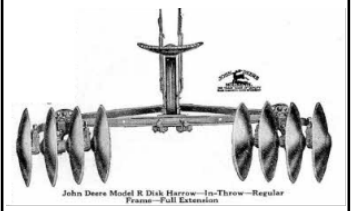
仕様書_解説等

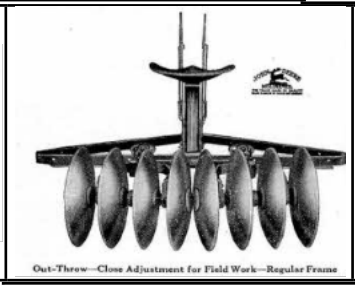
フレーム全幅166cm、4枚のデスクを一体化したギャング2～3セット、ギャング幅49.5cm、円板径38.5cm(元は16in＝40cm、利用による磨耗か)。

全体図：1：2014年時の標本、2：交換デスク
関連図1：1985年時の標本
関連図2-3：ＪＤ社Ｒ型果樹園用ハロー
当社品はフレームの幅も可変
4：ＩＨＣ社カタログの作業風景
当社品はギャング上にカバー付

右に全体図

外観特色関連図等





資料の所在: 公開展示室

資料追記事項:

資料管理経過:

作業メモ追記文

注:展示品のギャング取付け法では、抵抗中心が右に偏るために作業機が左に流れ、ハローが枝の下に潜る量が少なくなるから、中央側のギャングの向きを反対にしてオフセット式デスクハロー形態にするか、ギャングの間隔を空けて機体中心に対して対称に装着したい。

農業機械学会北海道支部「農機DB作成委員会編